

郡山市
「新型コロナウイルス」感染者等発生時
消毒作業マニュアル
【第1版】



総務部 職員厚生課

消毒に係る必要物品

＜＜消毒物品＞＞

- ☐ 消毒薬 （原則①または②を使用）

①消毒用エタノール
(アルコール含有60%以上のもの※)

②次亜塩素酸ナトリウム

- ☐ 布巾または使い捨てタオル

- ☐ バケツ

- ☐ 洗浄した空のペットボトル（2Lサイズ）

- ☐ スプレーボトル（あれば可）



＜＜感染防止用品＞＞

- ☐ 不織布マスク等

- ☐ ゴム手袋



ゴーグル、防護服（ガウン等）については、原則着用不要

消毒用品（消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウム等）については、必要となった際に、職員厚生課へ連絡すること。

作業の実施方法

1. 消毒作業所属の窓等を開放し、十分な換気を確保
2. 手洗い・手指のアルコール消毒を実施
3. 不織布マスク等、ゴム手袋を着用
4. 感染が想定される箇所について、消毒薬等を使用して丁寧に拭き取り



感染が想定される箇所（例）



感染者等が触れた可能性のあるところ

執務室内 … 机まわり、椅子、パソコン（マウス、キーボード等）、電話機、筆記用具、カウンター、会議・打ち合わせテーブル、キャビネット、ロッカー、事務用品、コピー機、ドアノブ、窓の取手、電気設備スイッチ、給湯ポット等

共用部分 … トイレ（ドアノブ、便座カバー等）、給湯室（蛇口、コンロ、給湯ポット、やかん等）、手すり、エレベーターボタン等

※天井、床、壁は、喀痰等の付着がない限り消毒は不要

消毒薬の使用方法

消毒薬	消毒用エタノール (60%以上なら可) 	0.05% 次亜塩素酸ナトリウム (ピューラックス、ハイター等) 
濃度	<u>原液のまま</u> 使用	原液が 5% の場合 <u>100 倍に希釈</u> して使用
調整方法及び使用方法	①布巾等にエタノールを染みませる（原液のまま使用） 【スプレーボトルを使用する場合は、感染が想定される箇所へ直接噴霧または、布巾等にふきつけて使用する】 ②感染が想定される箇所を拭き取る ③自然乾燥させる	①空の 2 ℓ のペットボトルに水道水を半分（1 ℓ）入れる ②ペットボトルの蓋（約 5 ml）で 4 杯分の次亜塩素酸ナトリウムを入れる ③ 2 ℓ になるまで水を入れて、蓋をして混ぜる ④バケツに移す ⑤布巾等に染みこませ固くしぼる ⑥感染が想定される箇所を拭き取る ⑦その後、布巾等で水拭き
備考	引火性があるので電気スイッチ等への直接の噴霧は避ける	トイレに使用する場合は、0.1% 次亜塩素酸消毒液とする

<作業時の注意事項>

- ・次亜塩素酸ナトリウム希釈液は、変色や金属の腐食等が生じる場合があるので、使用時は注意すること。
- ・消毒用エタノールでも素材により変色等が生じる場合があるため、目立たない場所で試行するなど注意すること。
- ・トイレは通常のトイレ用洗剤で洗浄しても差し支えありません。
- ・ペーパータオル使用時は、使用後にゴミ袋へ入れて密封して廃棄すること。
- ・スプレーボトルを使用する際は、一度に大量に噴霧せず、拭き取る箇所ごとに都度噴霧すること。
- ・消毒液が、目、鼻、口、傷口等に入らないように十分に注意すること。